

事業番号	16 01 03	事業改善シート（令和4年度実施事業分）				<input type="checkbox"/> 当初要求 <input type="checkbox"/> 当初予算案 <input type="checkbox"/> 補正予算案 <input checked="" type="checkbox"/> 点検		
事業名	災害警備対策推進事業	部局	警察本部	課・室	警備部			
		実施期間	S29 ～	E-mail	police-keimu@pref.nagano.lg.jp			
総合5か年計画（しあわせ信州創造プラン2.0）との対応関係								
重点目標								
総合的に展開する重点政策	4-4 生命・生活リスクの軽減							

1 現状と課題

救出救助活動に使用するために購入した装備資機材は、経年劣化や耐用年数により使用不能となるものが多く、今後も継続して修繕、購入が必要である。

2 事業目的

大規模災害発生時に、迅速かつ的確な初動対応を行うため、精強な救助部隊の構築を図るとともに、救出救助能力の向上、装備資機材の継続的な整備及び災害警備本部の機能強化等により災害への対処能力を高める。

3 予算のポイント・主な取組（当初予算又は補正予算時の実施予定）

①各種災害警備訓練の実施

- 南海トラフ地震、糸魚川静岡構造線断層帯地震等の直下型地震及び近年の局地化、激甚化する豪雨災害等に備え、整備した装備資機材を使用した各種災害警備訓練を実施（警察本部、各警察署）
- その他、防災関係機関と連携した災害警備訓練を実施

②行方不明者捜索活動での活用

- 災害発生時における行方不明者の捜索及び水難救助活動等において活用する救助用ゴムボート等の計画的整備



ボート訓練（野尻湖）



捜索活動（令和元年東日本台風災害時）



4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R2年度		R3年度		R4年度		R4年度 目標値	達成 状況	設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移				
①	装備資機材の整備等により、災害時に迅速かつ的確な救出・救助体制を確保する										大規模災害から、県民の生命、身体及び財産を守るため、災害警備活動に必要な装備資機材の継続的な整備等を行い、災害時に迅速かつ的確な救出・救助体制を確保する必要がある。
②											
③											
④											
⑤											

5 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R4年度	0	46,760	15,794	62,554	62,435	53,189	-
R3年度	0	46,049	0	46,049	45,930	45,381	-
R2年度	0	46,159	0	46,159	46,040	45,417	-

事業番号	16 01 03	事業改善シート（令和4年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	災害警備対策推進事業		部局	警察本部	課・室	警備部

6 主な取組実績と成果

①各種災害警備訓練の実施

激甚化・頻発化する風水害等に備え、有事の際に迅速、的確に救出救助が出来るよう、購入整備した災害装備を活用し、操船訓練や溺水者救出訓練等の各種災害警備訓練を実施し、警察署員の救助能力の向上を図った。



河川やダム湖での訓練状況

②行方不明者捜索活動での活用

災害発生時における行方不明者の捜索、その他、水難救助活動等において救助用ゴムボート等を活用した。



行方不明者捜索活動・救助活動の状況

7 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	装備資機材の整備等により、災害時に迅速かつ的確な救出・救助体制を確保する	R3年度推移	R4年度推移	達成状況
大規模災害から県民の生命、身体及び財産を守るため、救助用ゴムボート、投光器等の装備資機材を購入し、迅速かつ的確な救出・救助体制の充実を図ることが出来た。				
指標②		R3年度推移	R4年度推移	達成状況
指標③		R3年度推移	R4年度推移	達成状況
指標④		R3年度推移	R4年度推移	達成状況
指標⑤		R3年度推移	R4年度推移	達成状況

8 今後の事業の方向性

(1) 令和4年度の実績、成果指標の分析及び県民の意見等を踏まえた課題

救出・救助活動に使用するために購入した装備資機材は、経年劣化や耐用年数により使用不能となるものが多く、今後も継続し修繕、購入が必要である。

(2) 翌年度以降の事業改善の方策

適正な管理により、装備資機材を常時使用可能な状態の保持に努めるとともに、修繕が出来ないものは順次入れ替えを行い、大規模災害の発生に備える。

事業番号	16 01 03	細事業一覧（令和4年度実施事業分）		□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検		
事業名	災害警備対策推進事業		部局	警察本部	課・室	警備部

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
1	災害警備対策事業		45,417 千円	45,381 千円	53,189 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	災害警備用装備資機材の整備	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・各種感染症対策、備蓄装備品の整備 ・捜索救助用装備資機材の整備 ゴムボートを2署、投光器を1署に整備		
2	総合指揮室維持管理経費	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・災害警備本部となる総合指揮室の維持管理経費 有事の対応に備えた維持管理		